

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	HIPHOP8	
科目基礎情報					
開設学科	ダンスパフォーマンス科	コース名	全コース	開設期	後期
対象年次	2年次	科目区分	選択	時間数	30時間
単位数	1単位			授業形態	実習
教科書/教材	適時レジュメ・資料を配布する				
担当教員情報					
担当教員	YWKI/SHIGE/Yasuha	実務経験の有無・職種	有・プロダンサー		
学習目的					
この科目ではストレッチやアイソレーション等、基本的な体の動きを学び、ステップやコンビネーションを理解して作品を作ります。また振付を通して応用的なHIPHOPの表現を学びます。					
到達目標					
この科目ではHIP HOPの基礎的な体の動きを土台とした応用的な表現方法をコンビネーションやルーティーンを通して理解します。					
教育方法等					
授業概要	ストレッチ、体幹トレーニングによる基礎体力作り、アイソレーションを通して体の動き理解する。 毎レッスンテーマにそった課題振付を反復練習する事でステップやコンビネーションを修得する。				
注意点	前回レッスンの動き・ステップ・振り付けを自主練習して実習に臨む事。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	0%			
	小テスト	0%			
	レポート	0%			
	成果発表 (口頭・演技)	50%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する		
	平常点	50%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画 (1回～15回)					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	YWKI先生応用④	アイソレーションや動きのメリハリに重点を置いた振付を実践する			
2回	YWKI先生応用⑤	自分で考えたスローな動きから細かな振付に入る動きで筋肉の動きや全体のメリハリを意識する			
3回	YWKI先生応用⑥	グループを作り全員で考えた動きと既定の動きをメリハリを意識して組み合わせ発表する			
4回	SHIGE先生応用④	楽曲の意味を意識し、振付に感情をこめて表現できるよう実践する			
5回	SHIGE先生応用⑤	既定の振付を用い、歌詞の意味や雰囲気を意識した自分の振付を続けて踊れるようになる			
6回	SHIGE先生応用⑥	グループごとに考えた振付課題～自分たちの振付を感情をこめて表現できるようになる			
7回	Ami先生応用④	時間内に難易度の高い長い振付を覚え、少人数グループで全員の前で発表をする			
8回	Ami先生応用⑤	オーディション形式で時間内に振付を覚え、正確性・表現力の高い学生が全員の前で発表する			
9回	Ami先生応用⑥	既定の振付に続けて自分の振付を続け、正確性・表現力の高い学生が全員の前で発表する			
10回	卒業公演 振付①	振付師の考える楽曲・振付テーマ・表現したい内容を理解し、振付に取り組めるように準備する			
11回	卒業公演 振付②	ユニゾンパートの振付を練習する			
12回	卒業公演 振付③	ユニゾンパートの振付の精度をレベルチェックし、立ち位置を決める			
13回	卒業公演 振付④	オーディションを行いソロパート、少人数パートの出演者を決める			
14回	卒業公演 振付⑤	ソロ、少人数パートの振り入れを進め、ユニゾンパートに繋げる			
15回	レベルチェック	振付の精度を確認し、全体の構成をつける準備をする			